

救急車の適正利用について

海部東部消防署の救急出場の状況は、平成30年8月末で3,815件(前年比6.29%増)と近年急激に増加し、搬送された人の約半数が入院を必要としない軽症という現状です。

真に救急車を必要とする事故等が発生した場合、到着の遅れにより救える命が救えなくなるおそれがあるので、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

あなたはこんな使い方をしていませんか。

- ・自家用車がないから
- ・タクシーだとお金がかかるから
- ・通院、入院予定日だから
- ・どこの病院へ行けばいいか分からない、自分で病院を探すのが面倒だから
- ・救急車で行けば早く診てもらえるから

問合せ先 海部東部消防組合消防署 消防課
☎(442)0119

ためらわずに救急車を呼んでほしい症状：大人

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください！
重大な病気やけがの可能性があります。

顔

- 顔半分が動きにくい、あるいはしびれる
- ニッコリ笑うと口や顎の片方がゆがむ
- 疲れがまわりにくい、うまく話せない
- 視野がかける
- ものが突然二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えないと立てないくらい息にふらつく

手足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

腹

- 突然の激しい腹痛
- 持続する激しい腹痛
- 吐血や下血がある

ためらわずに救急車を呼んでほしい症状：小児(15歳未満)

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください！
重大な病気やけがの可能性があります。

顔

- くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけ、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

脳

- 激しい嘔吐やゼーゼーして呼吸が苦しく、顔色が悪い

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がない、意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがり、嘔吐が止まらない
- ウンチに血がまじった

手足

- 手足が硬直している

「赤ちゃんの味覚の発達」

私たちの感じる味は、甘味、酸味、塩味、苦味、旨味があります。味は舌や口の中の粘膜にある味蕾細胞で感じます。味蕾は胎児期の後半には味を感じることができますが、大人になればなるほど数が減少していくので、最も味に敏感な時期は生後から離乳期までと考えられています。

「甘味」は、エネルギー源である糖の存在を知らせる役割、「旨味」は、体をつくるのに必要なたんぱく質の存在を知らせる役割があり、「塩味」は、体液のバランスに必要なミネラル分の存在を知らせる役割があります。この3つの味は「体にとって必要な食べ物」と感じるため、本能的に好まれる味とされています。

一方、「酸味」は、腐敗物の存在を教える役割、「苦味」は、毒物の存在を教える役割があり、この2つの味は、体を守るために避けるべき「危険な食べ物」と感じますから、初めは受け入れられない味といえます。「苦味」「酸味」は、何度も経験することで徐々に慣れていく味なのです。

小児は甘味や旨味を本能的に好み、特に甘味は酸味や辛味をはじめ多くの味を隠す作用があるので、甘味の強い食べ物が多いと他の味に慣れないために幅広い味覚の発達が損なわれてしまします。また、濃い味付けは舌の感覚をまひさせてしまいます。

いろいろな素材の味を経験することで、豊かな味覚を得ることができるので、薄味の食物から、できるだけ多くの種類の味を体験させてあげましょう。



歯の健康講座 海部歯科医師会